

# 音楽の学習について

## 1 学習の目標

私たちの生活の中には音楽があふれています。娯楽はもちろん、学習に役立つ音楽や癒しの音楽など、さまざまな場面で音楽が使われています。音楽とのかかわりは、音楽についての知識を深めることによって、ただ聴くことからさらに興味深く楽しむことができるようになり、心の栄養として有効に活用することができます。

思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたりする力を身につけ、音楽と生活や社会とのかかわりを実感しながら、生涯にわたり音楽に親しむことができるよう学習を進めていきましょう。

また、合唱や合奏などでは全員で一つの音楽をつくっていく体験を通して、表現したいイメージを伝えあったり、協同する喜びを感じ取ったりしながら表現活動に取り組みましょう。

自分の演奏を表現することは、自分の力を与えられた場面・条件で存分に発揮する経験として、将来必ず役に立つことでしょう。

## 2 学習のしかた(※今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策で一部実施できない可能性有)

### ♪ 表現活動(歌唱・器楽・創作)

歌唱と器楽を中心に活動します。クロームブックを使ったDTM(デスクトップミュージック)を利用した創作活動も学年によっては予定しています。

歌唱では曲の構成を生かして表現を工夫し、歌詞の美しさを味わい、曲想を感じ取って表情豊かな表現をめざします。合唱の発表の場として毎年校内合唱コンクールがあります。クラスの仲間と歌声を響かせ、ステージ発表をめざします。また、五橋中では「五橋祭」や「3年生を送る会」等の行事毎に合唱する機会を設け、歌で感動や感謝を伝える事にも取り組んでいます。

器楽ではアルトリコーダーや箏等を中心とした演奏を通して基礎的な奏法を身につけ、音色や奏法を工夫しながら表現することや、楽器の特徴を生かした表情豊かな演奏をめざします。さらにアンサンブルとして、音を重ね合わせて演奏する楽しさを味わいます。また、他の和楽器にも取り組み、日本の音楽に親しみ、伝統音楽の良さを味わいます。

アルトリコーダーが無理な場合は、和楽器の時間を増やし対応していく予定です。

### ♪ 鑑賞活動

主に視聴覚教材をとおして演奏に触れ、曲の仕組みを理解して聴いたり、音楽のさまざまな構成要素を聴き取ったり、他の要素との結びつきを理解したりしながら曲全体を味わって鑑賞します。また、各時代の音楽を歴史的背景などとかかわらせて聴いたり、日本の伝統音楽に親しんだり、世界の音楽にも触れるなど、さまざまな音楽に親しみ、そのよさを味わいながら、はば広く鑑賞していきます。

## 3 評価のしかた

### ♪ 音楽の知識・技能

曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。

創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

(音楽活動のようす・演奏や発表・ワークや学習カード<sup>※</sup>記入・実技テスト など)

### ♪ 音楽の思考・判断・表現

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

(音楽活動のようす・演奏や発表・ワークや学習カード<sup>※</sup>記入・実技テスト など)

### ♪ 主体的に音楽に取り組む態度

音楽に親しみ、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。

(学習準備・授業態度・音楽活動のようす・ワークや学習カード<sup>※</sup>の記入 など)

## 令和4年度 年間指導・評価計画

教科	音 楽	学年	第1学年	担当	舟山 也寸志
----	-----	----	------	----	--------

### 【教科の目標】

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

### 【年間指導計画】

学期	時数	題 材 名	学 習 の ね ら い
1 学 期	6 (4月) (5月)	○歌声を作ろう ・校歌 ・夢の世界を	●校歌や新しい歌を覚え、新しい仲間と楽しく元気に歌う。 ●曲の速度、リズム、強弱などについて学習する。
	10 (5月) (6月) (7月)	○合唱の喜び ・校内合唱コンクール 課題曲・自由曲 (夢の世界を 等)	●自分のパートの音を正確に歌い、全体の響きに気をつけて合唱する能力を育てる。 ●校内合唱コンクールへの参加を通し、合唱を愛好する心情と表現力を育てる。 ●表現に必要な音楽的な知識を理解する。
	4 (7月) (8月)	○曲の雰囲気を感じ取る う ・映画音楽 ・音楽鑑賞 (ジョース・四季より春 等)	●曲の雰囲気を感じ取り、イメージを膨らませながら歌唱表現を工夫する能力を育てる。 ●旋律や形式などの働きによって生み出される曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴く能力を育てる。 ●曲の表す情景を理解して鑑賞することができる。
2 学 期	4 (9月)	○心の歌 ・赤とんぼ ・浜辺の歌 他	●歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現する能力を育てる。 ●表現に必要な音楽的な知識を理解することができる。 ●日本的な情緒や心情を理解することができる。
	3 (10月) (11月)	○旋律と和音のかかわり を感じ取ろう ・創作	●旋律と和音との関わりを感じ取り、表現を工夫する能力を育てる。 ●簡単なメロディを定められたルールの中で創作することができる。
2 学 期	8 (11月) (12月)	○旋律と和音のかかわり を感じ取ろう ・アルコーダー (喜びの歌・オーラリー アメージンググレース 他)	●旋律と和音との関わりを感じ取り、表現を工夫する能力を育てる。 ●楽器の基本的な操作方法を身に付け、楽しく音楽的に演奏することができる。

2 学 期	3 (1月)	○イメージをふくらませて 聴こう ・音楽鑑賞 (魔王等)	●曲の表す情景を理解して鑑賞することができる。 ●音楽の美しさや豊かさを理解し楽しんで鑑賞することができる。
	5 (2月) (3月)	○旋律の重なりを感じて 歌おう (3年生を送る会 合唱曲)	●旋律の重なり合いやパートの役割を感じ取って表現を工夫する能力を育てる。 ●先輩との思い出や感謝の心を合唱で表現する心情を育てる。
	2 (3月)	○日本の音楽に親しもう ・雅楽「越天楽」 ・六段の調 等	●日本の伝統楽器の音色や奏法など、多彩な表現を聴き取ることができる。 ●日本の伝統音楽に親しむ心情を育てる。
年間	45		

#### 【評価の方法】

	音楽の 知識・技能	音楽の 思考・判断・表現	主体的に音楽に 取り組む態度
授業での観察(発表・取り組み)	○	○	○
提出物	○	○	○
実技技能	○	○	
楽曲分析	○	○	

#### 【学習アドバイス】

##### ○学習前の準備

- ・教科書やファイル、歌集・楽器など忘れ物をしないこと。
- ・ふだんからいろいろな音楽に興味をもっていてください。

##### ○授業

- ・音楽は実技教科です。歌や楽器演奏など、授業での取り組みが一番大切です。
- ・豊かな表現力を身に付けるには、楽譜や楽曲についての知識も必要です。
- ・配布される学習プリントはきちんと記入し整理をきちんと行いましょう。
- ・配布された資料や楽譜は、しっかり整理してきちんとファイリングしてください。
- ・自己評価カードは毎時間の記録はもちろん、きちんと感想まで記入して提出してください。

## 令和4年度 年間指導・評価計画

教科	音 楽	学年	第2学年	担当	舟山 也寸志
----	-----	----	------	----	--------

### 【教科の目標】

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

### 【年間指導計画】

学期	時数	題 材 名	学 習 の ね ら い
1 学 期	3 (4月) (5月)	○歌声をみがこう ・校歌など ・Let's Search for Tomorrow	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽への学習意欲・態度を育てる。</li> <li>●声の響きの多様な美しさを感じ取り豊かな歌声で表現するための技能を身に付ける。</li> <li>●速度や強弱の変化を感じた表現を工夫することができる。</li> </ul>
	9 (5月) (6月) (7月)	○合唱の喜び ・校内合唱コンクール課題曲、自由曲など	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽の諸要素を理解し、表現活動に生かす能力を育てる。</li> <li>●各パートの役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。</li> <li>●校内合唱コンクールへの参加を通し、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。</li> </ul>
	2 (8月) (9月)	○心の歌 ・浜辺の歌、荒城の月など	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫する能力を育てる。</li> <li>●日本歌曲の詩情を感じ取り、日本語の美しさや、豊かさを理解し表現しようと工夫する。</li> </ul>
	3 (9月)	○曲のしくみを理解して聴こう。 ・フーガト短調 ・交響曲第5番「運命」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●曲の構成を感じ取り、曲全体を味わって聴く能力を育てる。</li> <li>●オーケストラの響きや楽器の音色関心を持ち、音楽の諸要素との関わりを感じ取ろうとしている。</li> </ul>
	3 (9月) (10月)	○楽器の特徴を理解して表現しよう。 ・創作(p c・リコーダー等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●楽器の特徴を生かして、即興表現をしたり、曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら、表現したりする能力を育てる。</li> </ul>

学 期	5 (11月) (12月)	○曲のしくみを理解して演奏しよう	●曲の構成を感じながら、曲全体を味わって演奏する能力を育てる。 ●楽器の基本的な奏法や表現する技能を身に付ける。
	2 (1月)	○オペラの名曲を味わおう	●「声」の力を理解し、オーケストラと「声」が生み出す豊かな表現を味わう能力を育てる。
	5 (2月) (3月)	○旋律の重なりを感じて歌おう (3年生を送る会 合唱曲)	●旋律の重なり合いやパートの役割を感じ取って表現を工夫する能力を育てる。 ●先輩との思い出や感謝の心を合唱で表現する心情を育てる。
	3 (3月)	○日本の音楽に親しもう ・文楽 ・歌舞伎 等	●日本の楽器の響きの魅力や郷土の音楽の良さを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。
年間	35		

#### 【評価の方法】

	音楽の 知識・技能	音楽の 思考・判断・表現	主体的に音楽に 取り組む態度
授業での観察(発表・取り組み)	○	○	○
提出物	○	○	○
実技技能	○	○	
楽曲分析	○	○	

#### 【学習アドバイス】

##### ○学習前の準備

- ・教科書やワークブック、楽器など忘れ物をしないこと。
- ・ふだんからいろいろな音楽に興味をもってください。

##### ○授業

- ・音楽は実技教科です。歌や楽器演奏など、授業での取り組みが一番大切です。
- ・豊かな表現力を身に付けるためには、楽譜や楽曲についての知識も必要です。
- ・配布されたプリントや楽譜はしっかり整理してきちんとファイリングしてください。
- ・自己評価カードは毎時間の記録はもちろん、きちんと感想まで記入して提出してください。

## 令和4年度 年間指導・評価計画

教科	音 楽	学年	第3学年	担当	馬島 真知子・舟山 也寸志
----	-----	----	------	----	---------------

### 【教科の目標】

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

### 【年間指導計画】

学期	時数	題 材 名	学 習 の ね ら い
1 学 期	2 (4月)	○歌詞の美しさを味わって歌おう ・花、花の街など	●歌詞の美しさを味わいながら、日本歌曲を愛好する心情を育てる。
	2 (4月) (5月)	○歌詞の内容や曲想を味わって歌おう ・大地讃頌、など	●歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する能力を育てる。
	9 (5月) (6月) (7月)	○合唱の喜び ・校内合唱コンクール課題曲・自由曲など 大地讃頌 春に、など	●各パートの役割を生かし全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。 ●音楽の諸要素を理解し、表現活動に生かす能力を育てる。 ●校内合唱コンクールへの参加を通し、いろいろな合唱曲に取り組み表現力と合唱を愛好する心情を育てる。
	5 (8月) (9月)	○オーケストラの豊かな響きを味わおう ・ブルタバ ・自由課題鑑賞	●楽器の音色や音楽の様々な構成要素を聴き取り、曲を味わって聴く能力を育てる。
2 学 期	8 (10月) (11月) (12月)	○楽器の特徴を生かして、表現しよう ・創作(p c やリコーダーによる) ○曲のしくみを理解して演奏しよう ・カントリーロード、Hey Jude など	●楽器の特徴を生かして曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら表現する能力を育てる。 ●曲の構成を感じながら、曲全体を味わって演奏する能力を育てる。 ●ある程度の構成や形式を意識した曲を創作する。

学 期	5 (1月) (2月)	○日本の音楽に親しもう ・雅楽、能・狂言など	●日本の楽器の響きの魅力や郷土の音楽の良さを味わい、 我が国の音楽に親しむ心情を育てる。
	2 (2月)	○世界の諸民族の音楽に親し もう	●世界の諸民族の音楽に親しむ心情を育てる。
	2 (2月) (3月)	○心の歌 ・早春賦 ・仰げば尊し、卒業の歌な ど	●歌詞の内容や曲想を感じ取って歌唱表現を工夫する能力 を育てる。
合計	35		

#### 【評価の方法】

	音楽の 知識・技能	音楽の 思考・判断・表現	主体的に音楽に 取り組む態度
授業での観察（発表・取り組み）	○	○	○
提出物	○	○	○
実技技能	○	○	
楽曲分析	○	○	

#### 【学習アドバイス】

##### ○学習前の準備

- ・教科書やファイル、楽器など忘れ物をしないこと。
- ・ふだんからいろいろな音楽に興味をもっていてください。

##### ○授業

- ・音楽は実技教科です。歌や楽器演奏など、授業での取り組みが一番大切です。
- ・豊かな表現を作るには、楽譜や楽曲に着いての知識や理解が必要です。
- ・配布されたプリントや楽譜はしっかり整理してきちんとファイリングしてください。
- ・自己評価カードは毎時間の記録はもちろん、きちんと感想まで記入して提出してください。